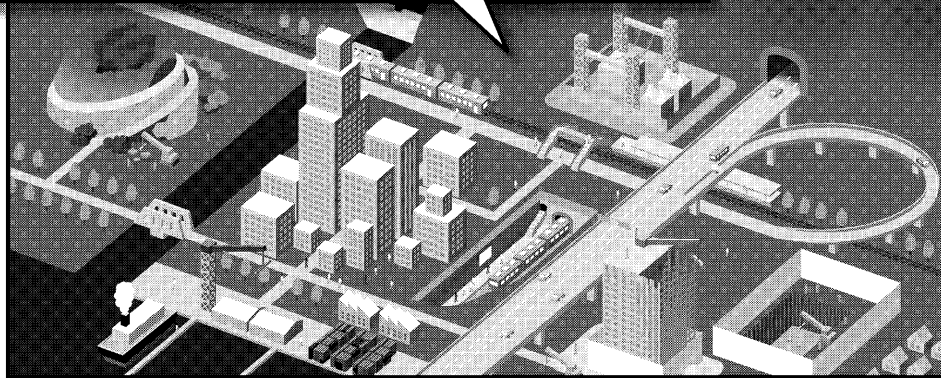


ヒロセだからできること



街で、山で、川で、海で、社会基盤を整備するあらゆる現場で求められるより安全な作業環境、より効率的な施工方法、より環境に配慮した技術。そして、人と自然が共に生きる快適な社会を創ること。そんな課題に応えるためにヒロセだからできることがあります。

Wicote株式会社
www.hirose-net.com

一般社団法人日本建設業連合会

会長 中村 満義
副会長・建築本部長 山内 隆司
副会長・土木本部長 宮本 洋一

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館内
電話 03-3553-0701
URL http://www.nikkenren.com



キャリア教育研修で先輩の体験談に聞き入る参加者(鹿島)

ゼネコン各社 ダイバーシティ推進

企業にとって、従業員の多様な個性を生かし、能力を最大限発揮できるようにするダイバーシティの推進は経営の重要なテーマに挙がっている。特に建設業界では、技能労働者不足が深刻化。ダイバーシティ経営の実践による働きやすい環境づくりが欠かせることができない。最近では部内のワークライフバランスなどを配慮しつつ、業績アップも実現する上司イクボスの育成にも注目が集まる。こうした中、ゼネコン6社のダイバーシティの取り組みをみてみる。

女性の活躍後押し 研修などで働き方確認

大林組は1970年クを作成し、自らの時代後半から女性技術者 働き方を確認できるように積極的に採用するようになった。平均勤続年数など、女性の活用については男性が16・9年に対して女性が18・5年と30万円を支給し、子育てを支援している。



平均勤続年数は女性が男性を上回っている(大林組)

鹿島は職場での女性の活躍を後押しするため、15年度から入社年次別に女性総合職向で定着させたい考えのキャリア教育研修だ。このほか、女性自身が職場環境の改善を提案する「鹿島たんぼぼ活動」を推進する。総合職採用に占める女性の比率を20%以上とし、必要や出産・育児など女性特有のライフイベントなどに理解を深めてもらう。

上司も意識改革を イクボス育成表彰

清水建設は15年12月、イクボス企業同会社の業績アップも実現する上司の育成を指す企業ネットワーク「イクボス」を推進している。イクボス企業間勤務の三つの制度 同社は、社員のキャリアを解説したハンドブック「イクボス」を開き、働き方改革に理解を深める。セミナーと同開催したのが「イクボスアワード2016」だ。部下の推薦による23人のイクボスの中から、イクボス賞3人と特別賞4人を選定し、表彰した。イクボス賞の1人は5児の父親として、過去に育児休暇取得を支援してもらった経験があり、部下の育児休暇取得を後押しした。別のイクボス受賞者は建築工事で業務シエラングなどにより代休取得を実現するなど、ワークライフバランスを高めた。大成建設は介護と仕事の両立を支援する体制づくりに力を入れている。高齢者介護は男女を問わず直面する問題。これまで介護休業制度の拡充など、制度の充実に取り組んできた。現在は介護に関する情報を社員に積極的に提供し、介護に役立つ情報をおおとして提供している。例えば、組合を通じて社員に介護に関する制度を周知したり、eラーニングによる制度・支援情報を知りたりしている。ケアマネジャーと相談しながら介護の取り組み内容を考える手引きも作成した。家族が参加できるセミナーも全国で開催中だ。

戸田建設は日本建設業連合会の第1回「イクボスアワード2015年度」(げんせい)で最優秀賞を受賞した。大正製薬大宮新物流倉庫建設工事(さいたま市北区)の作業所長が「イクボス」として、育児中の社員を含む全社員が働きやすい職場づくりを実施。チーム全体の生産性を向上し、1カ月当たりの残業時間を1人につき44%削減した。具体的には、各担当で2人体制を取り、測の事態にフォローしあうように工夫。月2回の土曜日を全休とし、残りの土曜出勤については代休を取得できるようにした。iPadを活用し、遠隔での業務遂行や業務効率化を実現した。この結果、他の作業所でも同様の活動を取り入れる動きが出てきている。会社全体の活動で、16年度下半期に現場の意識調査を行い、女性が活躍しやすい環境づくりに役立てる考えだ。

定年退職者の再雇用も増加

竹中工務店は04年から、経験豊富で高度な知識とノウハウを持つ定年退職者の再雇用制度を導入している。再雇用率はほぼ増加傾向あり、15年に84・4%、新規再雇用者は134人となった。再雇用者数は16年611人で全従業員数の81%を占める。再雇用者とは毎年面談を実施し、再雇用契約を1年ごとに更新。現役時代の知識や経験を生かせる仕事内容や勤務地などに配慮している。最近受注量が伸び、16年度下半期に現場の意識調査を行い、女性が活躍しやすい環境づくりに役立てる考えだ。



イクボス。が社員の働きやすい環境づくりを推進(戸田建設、右は大正製薬大宮新物流倉庫建設工事の木村作業所長)



イクボスアワード2016での金ボス賞の受賞者(清水建設、左から2番目は井上社長)

竹中工務店は04年から、経験豊富で高度な知識とノウハウを持つ定年退職者の再雇用制度を導入している。再雇用率はほぼ増加傾向あり、15年に84・4%、新規再雇用者は134人となった。再雇用者数は16年611人で全従業員数の81%を占める。再雇用者とは毎年面談を実施し、再雇用契約を1年ごとに更新。現役時代の知識や経験を生かせる仕事内容や勤務地などに配慮している。最近受注量が伸び、16年度下半期に現場の意識調査を行い、女性が活躍しやすい環境づくりに役立てる考えだ。

人と自然をつなぐ、伝統と革新をつなぐ。

かつて先人たちが理想を追い、実現してきたデザインや技術は、現代に伝統として受け継がれています。竹中工務店は、その伝統を尊びながら、常に新しい価値や試みを取り入れ、革新的なデザインや技術を創り出すことを目指しています。人と自然が共に豊かになるにはどうしたらいいの、か、未来の環境をつくる使命を持って新しい建築を世に送りだしていきたい。そして、10年後、20年後、100年後、その建物が新しい「伝統」になり、未来の建築家たちの礎になることを願っています。「最良の作品を世に遺し、社会に貢献する」竹中工務店は、この経営理念のもと、建築の可能性を追い求めていきます。

竹中大工道具館(兵庫県神戸市) 設計施工:竹中工務店

想いをかたちに 未来へつなぐ **TAKENAKA**

未来に進むために、必要なもの。

時代のうねりに流されないように、進むべき道を切り拓いていけるように。戸田建設グループは、新たにグローバルビジョンを策定しました。2021年の創業140周年と、その先の未来に進む私たちの、これからの指針です。

TODA Group Global Vision

“喜び”を実現する企業グループ

お客様の満足のために 私たちは、確かな技術力と多彩な人財力で、お客様との最高のパートナーシップをつくります。

誇りある仕事のために 私たちは、社員をはじめ現場に携わる一人ひとりが、強い責任感と情熱をもって仕事に取り組める職場をつくります。

人と地球の未来のために 私たちは、時代の変化と社会の課題に真摯に向き合い、環境に配慮した安心・安全な社会をつくります。

戸田建設
www.toda.co.jp